



成田中だより

令和7年3月13日
成田市立成田中学校
TEL 0476-22-0304
生徒数 500名
文責 ○○ ○○

学校教育目標『夢へ』～誰もが夢を持ち、明日も行きたいと思える学校～ スローガン「思い」「表現」「相手の思い」

式辞

校庭の木々の芽もほころびをみせ、待ち望んでいた春を感じさせる頃となりました。とは申し上げながらも、コロナ禍は徐々に歴史のひとつとなりつつありますが、まだまだ安心できることはなく、緊張の日々が続いております。その中で、本日は、会場の関係で人数制限にご協力いただきながらも、多くのご家族の皆様方に列席をいただき、成田市長「小泉 一成様」を始め、成田市議会議員様、学校運営協議委員様、本校PTA会長様の来賓の皆様に見守られながら、ここに第七十八回卒業証書授与式を挙げていきますことに、心から感謝を申し上げます。

卒業生のご家族の皆様には、本日ここに卒業の時を迎え、晴れがましく並ぶお子様の姿に、さぞかし感慨ひとしおの事と思います。心も身体も成長期にある子どもたちですので、様々な出来事にもまれた三年間であったと思います。今、こうして立派な姿で巣立ちの時を迎えた事に、謹んでお慶び申し上げます。

さて、卒業生の皆さんは、コロナ禍の中で小学校を卒業し、中学校生活が始まりました。小学校五年生の時には約二ヶ月の自宅学習も経験しました。それからこれまでの間に、タブレットの活用もかなり進みましたが、やはり、人とふれあう中での学びが、いかに大切かを我々職員も身をもって感じています。

本日も、三つのことを伝えます。

一つ目です。「今年度の目標の三本柱」四月の初めにお伝えした「三本柱」です。行事や集会でも一年間かけてお伝えし、皆さんの心にも宿っていることと感じています。「思い」「表現」「相手の思い」そして「夢へ」。

学校教育目標の「夢へ」に向けて、「三本柱」を旗印として、みなさんは大きく成長を遂げています。「思い」は自分の心からの原動力、「表現」はそれをどう伝え、形にしていくかの行動力、「相手の思い」は自分の思いをただ伝えるのではなく、相手の思いも感じながらの共感力として、卒業生には四月からの新たな生活でも、いかしてほしいと思います。原動力、行動力、共感力です。

二つ目です。「誰もが夢を持ち、明日も行きたいと思える学校」は成田中学校のキャッチフレーズです。皆さんにとっての「夢」は何ですか。「夢」に向けて歩みは進みましたか。学校は「明日も行きたい」場所になっていましたか。この中学校生活最後のこの日に、卒業式のこの場で考えてみて下さい。時間をとります。

さらに、3学年職員は「周りを温かくできる笑顔」「柔らかい心と認め合える素直」「たゆまぬ努力の情熱」「笑顔・素直・情熱」を合い言葉に、その思いを礎にして皆さんと関わり続けてきました。皆さんが思い悩んでいるときにも、「あと一步、あと少し」と同じように悩み続けました。

今の皆さんなら、限界を感じたときにあと一步を踏み出せるようになってはいませんか。耐えるだけではなく、目標を見定め、一步目をすでに踏み出していませんか。ゆっくりでもいい、止まってでもいい、後戻りしてもいい、あきらめずに、これからも「夢へ」に向けて歩み続けてほしいと思います。

三つ目です。「正しい道を選んだとは限らない 選んだ自分が正しかったと思えるようにする」

義務教育を終えて、皆さんは四月からはそれぞれが選んだ道へと歩みを進めます。希望に満ちた四月です。その中でも、イメージとは異なることや、予想外のことも必ず起きます。そんなときにこそ、自分で選んだ道だからこそ、選んだ自分が正しかったと思えるように、取り組んでほしいと思います。「選んだ自分が正しかった」と思えるように。

思い・表現・相手の思い、「夢」への歩み、「選んだ自分が正しかったと思えるように」

卒業式の今日、皆さんに伝えた三つです。

そして餞の言葉として 『過去に感謝し、未来へ挑戦』 『過去に感謝し、未来へ挑戦』

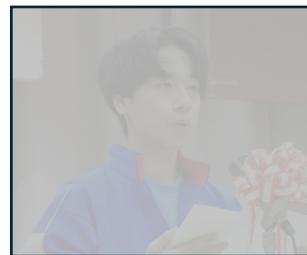
さあ、いよいよ三年間の学び舎ともお別れの時を迎えます。私たちは、続く在校生と共に、皆さんが築き上げ、残してくれた伝統や文化を受け継ぎ、いつまでも皆さんが安心して思い返せる成田中学校であるように努力していきます。皆さんは、本校で学んだ事を誇りにされ、新しい世界に向かって大きく羽ばたいてください。第七十八回卒業生一七三名の前途が幸せに満ちていることを心から祈ります。

最後になりましたが、在学中の間、全幅の信頼をお寄せいただき、ご支援くださいましたご家族の皆様、常に温かい目で本校生徒を見守ってくださった地域の皆様、そして物心両面で支えてくださいました市当局、市教育委員会の皆様方に感謝を申し上げ、式辞といたします。

【卒業生答辞】

長く続いた冬の寒さも和らぎ、心地よい風が吹く季節になりました。この良き日に、私たち百七十三名はこの成田中学校を卒業します。

この成田中学校での三年間は、私たちにとってかけがえのないとても大切な時間でした。少し大きめの制服に身を包み迎えた入学式、新しい生活への期待と不安がある中、成田中での生活が始まりました。入学式で初めて会った二・三年生の先輩方は、少ししか年齢が離れていないのに、とても大人に感じたのを今でも覚えています。違う小学校から来た人たちと共に生活が始まった一年生、最初は混乱することがあったけれど、少しずつ打ち解けて、行事にも一緒に取り組みました。一年生の合唱コンクールでは、一人一人の取り組みに差はあったけれど、みんなで歌い切ることができて達成感を覚えました。



クラス替えがあった二年生、体育館で新しいクラスが発表され、新鮮な気持ちで新年度をスタートしました。4月には、一年生が入学してきて、先輩としてやっていけるのかなという不安を感じながらも、対面式で挨拶をしたり、部活動を中心とした学校生活で一緒に過ごしたりしました。8月からは部活動での最高学年となり、自分たちが中心となって行動することに戸惑いつつも、なんとか先輩に教えていただいたことを活かしてやり切ることができました。昨年先輩方の卒業式は、私たちが一年生の時とは違い、全員が体育館で卒業式に参加することができました。先輩の姿はとてもしっかりとしていて、来年は自分たちの番というイメージがあまりできないほどでした。

そして、ついに迎えた三年生、受験生という実感はまだ持てない中、最高学年として頑張ろうと意気込んでいました。三年生は全ての行事に「最後の」がつく学年で、一つ一つの行事にみんなが全力で取り組みました。五月に行った修学旅行、新幹線で長距離を移動するのは中学校生活で、初めて最後でした。一日目、二日目の班別散策では、班のみんなと協力して、様々な京都、奈良の名所を巡りました。道中や、目的地で見た景色は、普段見ない綺麗な景色だったのを今でも覚えています。宿で食べた美味しい夕食、みんなで楽しんだレク、修学旅行は中学校生活で一番の思い出でした。合唱コンクールでは、最後の行事ということもあり、今までよりも真剣にみんなで練習をしていました。朝の会や帰りの会で聞こえてくる隣のクラスの合唱、中間発表で聞いた他のクラスの合唱、そのどれもが今までとは違うものを感じさせる歌声でした。本番での発表では、どのクラスの合唱もこの三年間の想いがこもった歌声がホールに響いていました。

このように、一つ一つのことが、大切な思い出になりました。そんな有意義な学校生活を送れたのも、周りの方々の支えがあってこそです。一緒に部活動や行事で頑張ってくれた後輩の皆さん、頼りない時があったかもしれないけれど、いつもついてきてくれて、時には支えてくれて、ありがとうございました。

一年生の皆さん、これから皆さんは先輩になります。後輩としっかり協力して頑張ってください。二年生の皆さん、これからは最高学年になりますね。これからも成中の伝統である挨拶と歌声を大切に、より良い学校にしていってほしいです。この三年間、私たち一人ひとりに親身になって指導して下さった先生方、学級活動や授業、それ以外の生活でも一緒に生活して、とても幸せな時間を過ごせました。また、受験に伴う悩みがある中でも相談に乗ってくださり、とても心強かったです。今までありがとうございました。

そして、どんな時も一番近くで見守ってくれたお父さん、お母さん。私たちが生まれてから今日まで、私たちには到底想像できないほどの苦労があったと思います。それでもいつもそばにいて優しくしてくれて、いろいろなことをしたり、いろいろなところへ連れていってくれたりして、いつも楽しいです。さらに、朝起きたらご飯があり、夜帰ってきたらご飯があって服が洗濯されている、などのいつも当たり前になっていることがあるのも、二人がいつもやってくれているからです。そのようなことが、とてもありがたいことだと、今ならわかります。本当にいつもありがとう。思春期ということもあり、強く当たってしまうことや、反抗してしまうこともあったけれど、それでもいつも優しく、時には厳しく接してくれて、一緒に生活して、毎日が楽しくて幸せです。これからもたくさん迷惑をかけてしまうと思うけれど、それでも同じように一緒に過ごしていきたいです。この三年間で私たちは一人一人様々な点で成長しました。相手のことを考えて行動することが得意になった人や周りの様子を見て行動できるようになった人など、人それぞれ大きな成長をしました。ですが、今までお世話になった方々からの私たちへの期待はもっと大きなものだということもわかっています。なので、これからも私たちは成長し続けていけるように頑張っていきたいと思います。私たちはこの学校で様々な行事に取り組み、一生懸命に頑張ることと周りの人と協力することなどを学びました。この先の人生では様々な困難があると思います。ですが、諦めずに努力し続け、周りの人と協力することを忘れず、チームワークを活かすことで、自分のなりたい将来へ向かって、卒業生一同、ひたむきに頑張っていきます。

皆さん、今までありがとうございました。そしてさようなら。

【在校生送辞】

大地が冬の眠りから覚め、春の息吹を感じることでできる季節になりました。今日、三年間の中学校生活を終え、晴れて卒業を迎えられた百七十三名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心からお祝い申し上げます。

二年前の春、私たちは中学校へ入学しました。中学校生活に対し、楽しみな気持ちもありましたが、それ以上に不安でいっぱいでした。そんな中、入学式での、制服を身にまとった先輩方の姿が、とても輝かしく、大きく見えました。その後、まだ何もわからない私たちに優しく接してくださった先輩方の存在が、とても心強く感じられ、徐々に不安は消えていきました。

思い出を振り返ってみると、先輩方は多くの場面で活躍されており、私たちの手本となってくれました。体育祭、合唱コンクール、部活動など、先輩方に多くのことを教えていただきました。

これらの行事を進めていく中で、先輩方が見せてくださった「協力して物事を成し遂げる力」や「何事もみんなが助け合う大切さ」に大きな影響を受けました。

全力で燃えた体育祭。応援団が中心となって行った応援合戦では、声を枯らし100%以上の力で取り組む姿、迫力のある大きな背中が、強く心に残っています。体育祭でも、先輩方は率先して準備をしてくれ、片付けのときも私たちを手伝ってくれました。私たちが気づかない部分まで目を配り、協力し合いながら作業を進める姿を見て、「自分もこうなりたい」と感じました。

季節は巡り、迎えた秋。合唱コンクール当日の歌声に圧倒され、そして、今でも先輩方の歌声は私たちの目標です。毎日の朝の会や帰りの会で聞こえてくる先輩方の合唱に励まされ、自分たちも頑張ろうと思いました。クラスで一丸となり、学年へ広げ、最後は学校全体を包み込み、綺麗な歌声を響かせてくださいました。背中を押してくれているかのような合唱を、これからは私たちが前へ進ませていきます。

そして、三年生と一番関わる機会が多かった部活動。いつも先頭に立ち、右も左もわからない私たちに、時に厳しく、時に優しく教えてくださる先輩方は、私たちに憧れの存在でした。そんな先輩方の、部活動に一生懸命取り組む姿は、今でも目に焼きついています。先輩方が引退され、自分たちが部活動を引っ張る立場となり、改めて先輩方の偉大さや先頭に立つことの難しさを感じました。

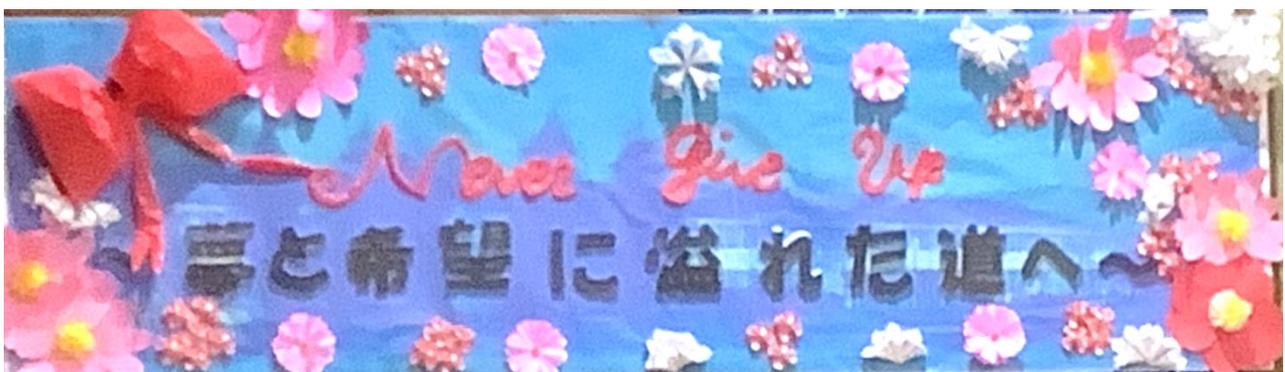
これまでの二年間、先輩方の背中を追ってきました。しかし、今日で優しい先輩方とはお別れです。少し寂しいですが、先輩方が残した伝統は私たちが引き継ぎ、一丸となって頑張ります。三年間の経験、たくさんの思い出を胸に、これからの道を力強く歩いてください。先輩方が栄えある道へ進むことを、私たち在校生一同、心よりお祈りし、お別れの言葉とさせていただきます。

令和七年三月十三日 在校生代表 S.R.

【予餞会～1, 2年生から3年生への感謝の思い～】

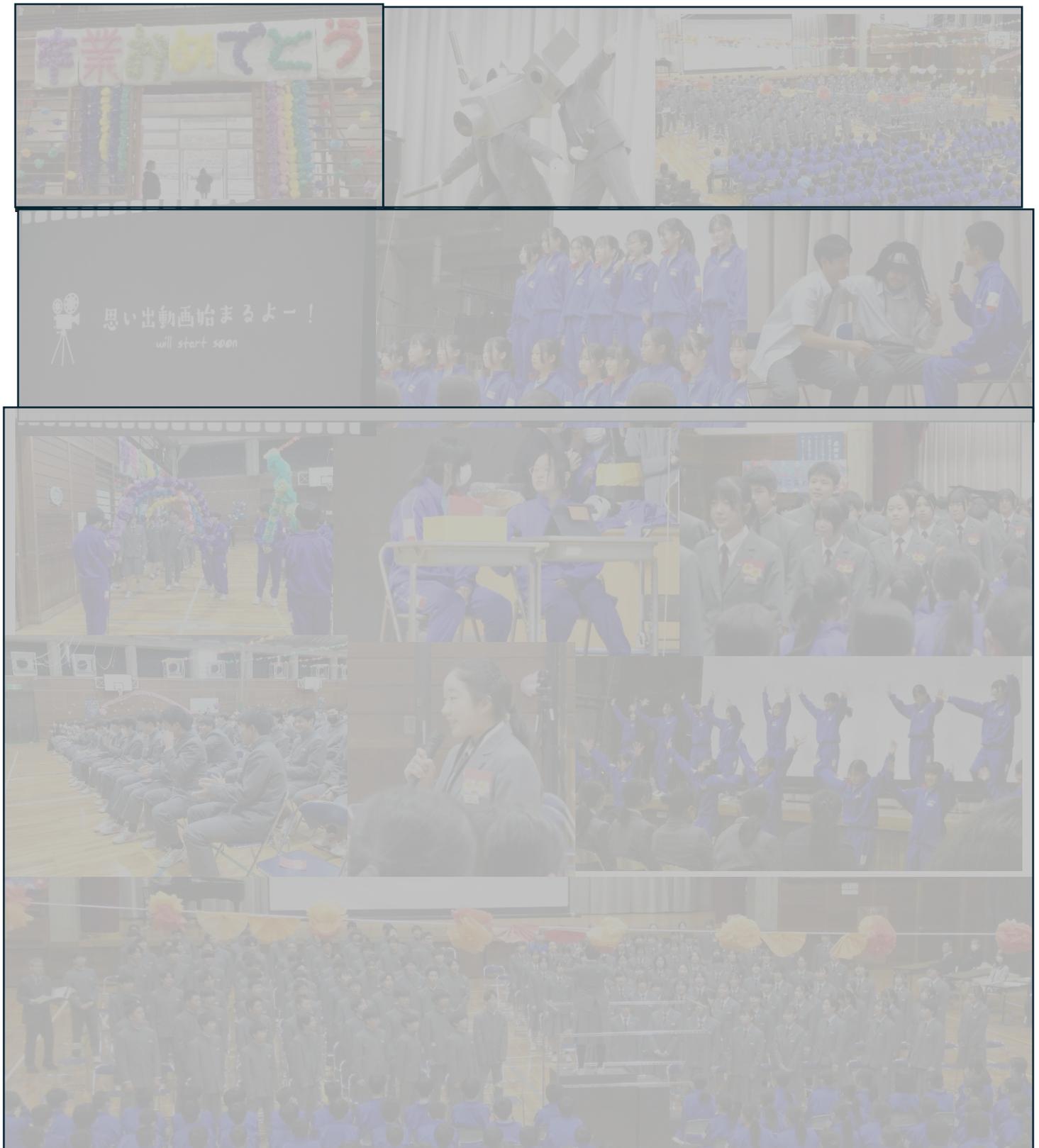
3月3日、予餞会（3年生を送る会）が行われました。1, 2年生はこの日のために、実行委員長のO.A.さん（2年）を中心に、2学期の終わり頃から準備を重ねてきました。素晴らしい演技で観客を魅了した寸劇、会場を笑いであふれさせてくれた動画の数々、会場を盛り上げたキラキラのダンス、体育館を華やかに彩った装飾、劇を支え、3年生を喜ばせた小道具や招待状、1・2年生の団結力を感じさせた群読と合唱「栄光の架け橋」、ユーモアあふれる生徒会の動画、3年間を思い出させてくれたスライドや部活動からのメッセージ…1, 2年生全員が何かしらの係を担当し、全員で創りあげた予餞会でした。3年生は、喜びの表情や感極まった表情を見せてくれました。そして、1, 2年生の感謝の思いに応えた3年生合唱「蛍」。圧巻の合唱でした。さすが3年生！

予餞会を成功させてくれた1, 2年生、また一つ成長し、学年として団結できましたね。4月からの皆さんの活躍が楽しみです。



【実行委員長のOさん】

【予餞会特集！】



編・集・後・記

先日、1985年公開のSF映画の名作「バック・トゥ・ザ・フューチャー」がテレビで放送されていました。保護者の皆様にとっては馴染みのある懐かしい映画ではないでしょうか。高校生マーティと科学者のドクが、タイムマシン「デロリアン」で過去や未来にタイムスリップして、家族を救うため奮闘するというSF映画です。物語の最後にドクはマーティに次のように言います。

“It means your future hasn't been written yet. No one's has. Your future is... whatever you make it. So, make it a good one!”

「君の未来はまだ決まっていないということ。誰のでもそうだ。未来は自分で切り拓くものなんだ。だから頑張るんだ。」

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。成田中で学んだこと、経験したことを活かして、自らの手で未来を切り拓き、豊かな人生を歩まれることを心から祈っています。